

### 3 - 2 アジアセミナー：中国

平成 18 年 2 月 17 日、弘済会館（四ツ谷）において、「第 2 回アジアセミナー：東アジアにおける産業財産権関連紛争の裁判上の処理（中国編）」を開催した。

以下、そのプログラムと、各報告の講演録、およびパネルディスカッションのテープ起こし、そして郭禾教授、張平教授と李正華教授がそれぞれ使用したパワーポイント資料を載録してある。

各報告の講演録およびパネルディスカッションのテープ起こしについては、加藤幹氏（早稲田大学大学院）工藤敏隆氏（弁護士、ワシントン大学ロースクール）に日本語校閲を、鄧莽氏（あさひ・狛法律事務所・中国弁護士、早稲田大学大学院）に中国語校閲をお願いした。記して感謝する次第である。

特許庁研究事業『平成17年度大学における知的財産権研究プロジェクト』  
第2回アジアセミナー  
『東アジアにおける産業財産権関連紛争の裁判上の処理（中国編）』

日時：2006年2月17日（金）16:00から20:00

場所：弘済会館（四ツ谷）

プログラム

【第一部】16時00分～18時35分

開会の挨拶 司会

- ・「レゴ玩具積み木応用美術作品の著作権紛争事件と中国において海外の応用美術作品が受ける保護の法的根拠」 王兵（ワン・ピン）氏（清華大学法学院副院長・教授）
- ・「北京における商標裁判の状況に関する私見—2005年北京法院における商標関連判例の一部を切り口として」 郭禾（グオ・ハー）氏（人民大学法学院教授）
- ・「中国における特許保護の現状と直面する課題」 張平（ジャン・ピン）氏（北京大学法学院教授）

休憩及び時間調整（質問書回収）

- ・「中国における特許権侵害の基本的な判断手法」 張曉都（ジャン・シャオドウ）氏（上海高級人民法院知的財産法廷判事）
- ・「広東省における企業の知的財産権を巡る状況および知的財産権関連裁判について」 李正華（リー・ジョンファ）氏（中山大学法学院助教授）

コメント 渋谷達紀（早稲田大学教授）

休憩及び時間調整（質問書回収）

【第二部】18時35分～19時55分

パネルディスカッション：テーマ「中国の知財紛争処理の動向とその展望」

19時55分～20時00分

挨拶 月野洋一郎（特許庁技術調査課大学等支援室 支援企画班長）

司会 早稲田大学法学学術院・大学院法学研究科  
高林龍教授（研究代表者）